

2016年3月18日

『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動における
ポリオワクチンの寄付累計が約 62 万人分相当に

富士火災海上保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 横山 隆美)は、CSR 活動の一環として取り組む『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動において、2015 年度分として約 7 万人分相当のポリオワクチンを認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(Japan Committee, Vaccines for the World's Children: 以下 JCV)に贈呈しました。

当社は、「自分らしいやり方で自分に合った寄付を通じて子どもたちにワクチンを届ける」という JCV への寄付方法の 1 つ「僕のルール」に共感し、“世界の子どもたちが健康で安心な生活を送れるように”との思いから、当社の医療総合保険『みんなの健保 2』、引受基準緩和型契約特約付医療総合保険『持病のある方も入りやすい みんなの健保 3』等の新規契約の販売件数に応じてポリオワクチン相当額を寄付するという『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動を 2007 年より継続的に行っております。2007 年の取組開始以降、累計で約 62 万人分相当のポリオワクチンを JCV を通じ、世界の子どもたちにお届けすることができました。

日本での発症例は少なくなってきましたが、ミャンマーやブータンなどの開発途上国では今もなお、大きな脅威となっています。今後も当社は『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動を通じてポリオワクチンの重要性や活動の意義への理解拡大に一層努めてまいります。

【ご参考】

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会の活動について

発展途上国へのワクチン及び予防接種関連物資の支援と、感染症の完全予防のための国内啓発活動を行っています。「僕のルール」は、和田毅投手が 2005 年に「1球投げるごとに 10 人分のワクチンを寄付する」という、「僕のルール」を宣言したことで広まった寄付のかたちです。詳細については JCV のホームページ (<http://www.jcv-jp.org>)をご覧ください。

ワクチンについて

ワクチンは、感染症を予防するための免疫をつくる抗原で、ポリオ(小児マヒ)などの病気の予防に有効です。多くの発展途上国では、ワクチン不足は深刻な問題で、予防接種を受けられない子どもが命を落としています。ワクチンは極めて熱に弱く、安定した環境で輸送するために、冷蔵庫などの設備を備えたコールドチェーンと呼ばれる輸送ルート作りが必要です。